

2019年9月11日

受験者の皆様へ

神戸大学大学院工学研究科長  
大村直人

出題ミスのお詫びとお知らせ

2020年度工学研究科博士課程前期課程一般入試（2019年8月26・27日実施）におきまして、建築学専攻の筆答試験の「専門科目（一）建築計画・都市計画・建築史」の問題で下記のとおり選択肢と設問の誤記載があることが判明しました。

つきましては、当該問題（100点満点のうち9点）は全員正解として取り扱うことにし、この措置に基づいて9月11日に合格者発表を行いました。なお、本措置による合否判定に影響がないことを確認しております。

受験者ならびに関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことについて、お詫び申し上げます。

記

・ 選択肢の誤記載（選択肢の関連する問題5点）

問1. の語群

誤：13 ラファエル・モネオ

正：13 ラファエル・ヴィニオリ

・ 設問の誤記載（2点）

問4-1

誤：1. 1888年に公布された日本の近代都市計画の基礎となった法律

正：1. 1888年に公布された日本の近代都市計画の基礎となった法令

・ 設問の誤記載（2点）

問4-1

誤：4. 1990年代に策定された高齢者福祉計画

正：4. 1990年代に推進された高齢者福祉計画

2020年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

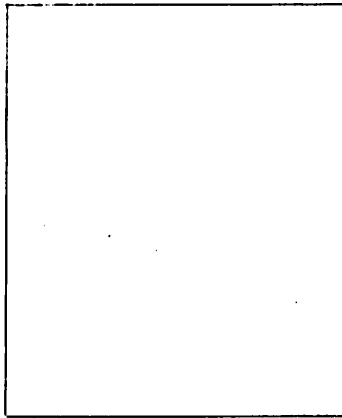
(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目(一)	建築計画 都市計画 建築史 (4枚中の1枚) 配点 25点	採点	
---------	--	----	--

問1 下記の写真の建築について、該当する情報(建築家・所在地・用途)を下記の語群1~21から選んで、各写真の下に数字を記入しなさい。(建築家・所在地=各2点 用途=各1点)

語群

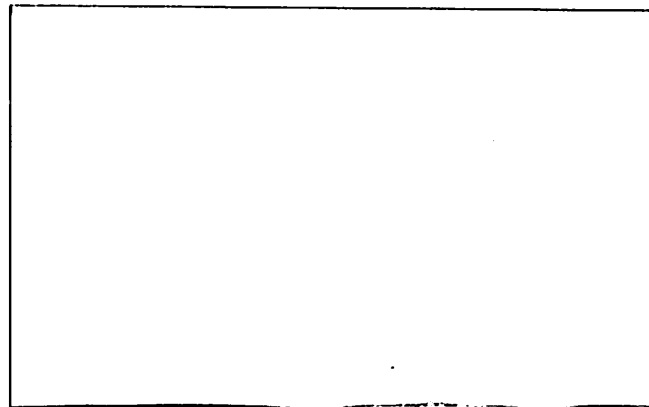
- 1 ロンドン    2 東京    3 槇文彦    4 ライブラリー    5 ワシントン    6 安藤忠雄    7 オフィス    8 アルバロ・シザ  
 9 コンベンションホール    10 ソウル    11 大阪    12 ミュージアム    13 ラファエル・モネオ    14 ニューヨーク  
 15 ザハ・ハディド    16 伊東豊雄    17 レンゾ・ピアノ    18 北京    19 シカゴ    20 谷口吉郎    21 神戸



建築家 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

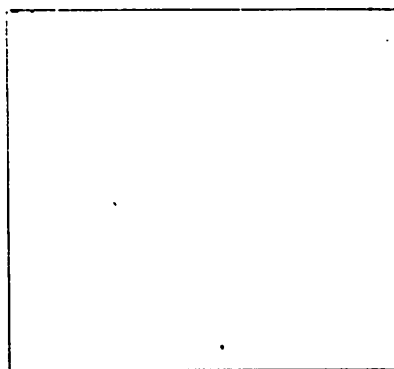
用途 \_\_\_\_\_



建築家 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

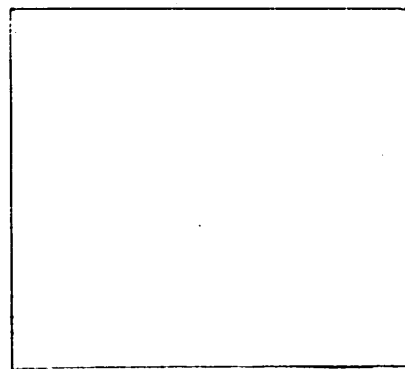
用途 \_\_\_\_\_



建築家 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

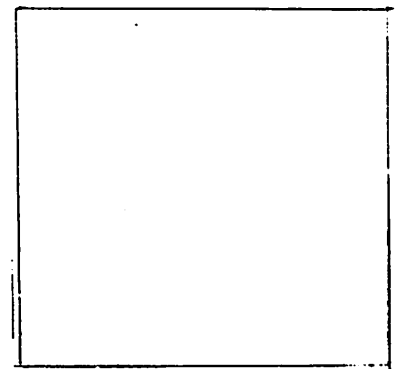
用途 \_\_\_\_\_



建築家 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

用途 \_\_\_\_\_



建築家 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

用途 \_\_\_\_\_

2020年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の2枚) 配点25点	採 点	
----------	---------------------	----------------	--------	--

問2-1 図1~3の建物名を解答欄に記しなさい。また、図4の①~③の部材名称を語群(1)から選び、その記号を解答欄に記しなさい。(6点)

図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4
語群(1)A:垂木 Taruki B:肘木 Hijiki C:千木 Chigi D:大斗 Daito E:巻斗 Makito F:方斗 Houto G:双斗 Souto H:大瓶束 Taiheizuka			

	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 ① Fig.4①	図4 ② Fig.4②	図4 ③ Fig.4③
解答欄						

問2-2 図1~4の様式を語群(2)から選び、その記号を解答欄に記しなさい。また、図1、図3、図4を設計した建築家名を解答欄に記しなさい。(7点)

	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4
解答欄	様式 Style			
	建築家 Architect			

語群(2) ①ビザンチン Byzantine ②古代ローマ Ancient Roman ③古代ギリシア Ancient Greek ④初期ルネサンス Early Renaissance  
⑤盛期ルネサンス High Renaissance ⑥マニエリスム Mannerism ⑦イタリア・バロック Italian Baroque ⑧ドイツ・バロック German Baroque  
⑨フランス・バロック French Baroque ⑩初期ゴシック Early Gothic ⑪レイヨナン・ゴシック Rayonnant Gothic ⑫盛期(古典期)ゴシック  
High Gothic / Classical Gothic ⑬フランボワイヤン・ゴシック Flamboyant Gothic ⑭ゴシック・リヴァイヴァル Gothic Revival  
⑮グreek・リヴァイヴァル Greek Revival ⑯フランス・ロマネスク French Romanesque ⑰ドイツ・ロマネスク German Romanesque

問2-3 以下の5つの図版の建築家名と建物名を解答欄に記しなさい。また、完成年次の順に図版番号を解答欄に記しなさい。(12点)

図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
----------	----------	----------	----------	----------

建築家名 Name of Architect

解答欄	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
-----	----------	----------	----------	----------	----------

建物名 Name of building

解答欄	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
-----	----------	----------	----------	----------	----------

完成年次順 Order of the completion year using figure number.

解答欄	⇒	⇒ 図2 / Fig. 2	⇒	⇒
-----	---	---------------	---	---

2020年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	( 4 枚中の 3 枚) 配点 25 点	採 点	
----------	---------------------	----------------------	--------	--

問3-1 建築計画・防災計画・住居計画に関連する①～⑩にあてはまる最も適切な語句を語群Ⅰから選び、その記号(a～t)を解答欄に記入しなさい。(20点)

- 1923年、関東大震災の義捐金を基に設立された(①)は、江戸川アパートなどの当時としては最高居住水準の鉄筋コンクリート集合住宅を、震災による大量焼死を繰り返さないための(②)を理念として東京圏へ供給した。
- 建物用途や規模に対して廊下の幅員の最小値が、日本の建築基準法で定められているが、これらの値は(③)としての最小値であり、通路の性格によっては、休憩用のアルコーブを設けるなど、移動以外の行為にも配慮が必要であろう。
- 事務所ビルでは、床面積に対する貸室面積の比を(④)と呼び、計画上の重要な指標となる。基準階の平面計画は、階段や設備などを集約して配置するコア形式が基本である。コア形式のうち、(⑤)コアは大規模な基準階に適しており、面積効率が良く、高い(④)が得られるが、二方向避難の計画が難しい。
- 日本の建築基準法では、比較的大きな建築物や不特定多数の人が利用する建築物などに対し、避難上、火煙に対し安全性の高い階段として、避難階段や(⑥)避難階段の設置を求めている。これらの階段室に通ずる出入口には、(⑦)を設ける必要がある。(⑥)避難階段には、火災による火煙が直接、階段室へ侵入しないように、廊下・居室と階段室の間に附室、または、(⑧)を設けることによって、更に安全性を高めている。
- 煙中での視覚的な障害の度合いは、煙濃度の指標である(⑨)で表され、その値が大きくなるにつれて(⑩)は低下し、避難方向を失うなど避難行動に支障が生じる。

語群Ⅰ

a レンタブル比 b 避難経路 c 減光係数 d 流動係数 e 同潤会 f 不燃化 g 偏心 h 独立 i 耐震化 j バルコニー  
k 防火設備 l 限界距離 m 住宅公団 n 見透かし距離 o 混合比 p 動線 q 非常 r センター s 特別 t 両端

解答欄	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問3-2 建築空間に関連する①～⑤にあてはまる最も適切な語句を、語群Ⅱから選び、その記号(a～l)を解答欄に記入しなさい。(5点)

- さまざまな行動を可能にする環境の性質のことを(①)と言う。この言葉は、生態心理学者の(②)の造語である。例えば、階段のような段差は、人が上下移動に用いるほか、人が座ることも(③)していると言える。
- (④)という概念は、(⑤)の著書「(④)ーデザインの行動的研究」によって、「身体を取り囲む他者に侵入されたくない目には見えない領域である」と定義されている。

語群Ⅱ

a アフォード b パブリックスペース c J・J・ギブソン d E・T・ホール e パーソナルスペース f アフォーダンス  
g ソシオベタル h ブロックセミクス i R・ソマー j O・ニューマン k テリトリー l アテンド

解答欄	①	②	③	④	⑤
-----	---	---	---	---	---

2020年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号	
------	--

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	( 4枚中の 4枚) 配点 25点	採 点	
----------	---------------------	-------------------	--------	--

問4-1 設問毎に①から③の選択肢から答えを選び、その番号を解答欄に記入しなさい。(10点)

- 1888年に公布された日本の近代都市計画の基礎となった法律  
①大日本帝国都市計画法 ②京都市区改正条例 ③東京市区改正条例
- 関東大震災後に内務省によって設立された財団法人  
①同潤会 ②田園都市協会 ③住宅営団
- 第二次世界大戦後に設立された戦災復興のための政府機関  
①戦災復興省 ②戦災復興院 ③国土総合開発院
- 1990年代に策定された高齢者福祉計画  
①高齢者安心生活プラン ②ゴールドプラン ③福祉倍増計画
- 21世紀に入って文化財保護法で新たに制定されたもの  
①重要伝統的建造物群保存地区 ②登録文化財 ③文化的景観

解答欄	1		2		3		4		5	
-----	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問4-2 都市計画に関連する下記の文献と関連するキーワードを選択肢から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。(15点)

- 「広場の造形」(カミロ・ジッテ)が書かれた時期  
①1900年頃 ②1930年頃 ③1960年頃
- 「明日の田園都市」(エベネザー・ハワード)と最も関連する事項  
①イギリス田園都市協会 ②三つの磁石 ③歩車分離
- 「近隣住区論」(クラレンス・ベリー)と最も関連する事項  
①小学校区 ②アメリカ郊外住宅協会 ③歩行者天国
- 「都市のイメージ」(ケビン・リンチ)と最も関連する事項  
①隠れた次元 ②イメージ・アビリティ ③ラドバーン方式
- 「都市はツリーではない」(クリストファー・アレグザンダー)と最も関連する事項  
①パターンランゲージ ②セミラチス構造 ③インターラクシオンデザイン

解答欄	6		7		8		9		10	
-----	---	--	---	--	---	--	---	--	----	--

- 「アメリカ大都市の死と生」の著者  
①ルイス・マンフォード ②ポール・サムエルソン ③ジェーン・ジェイコブス
- 「日本のすまい」(I~III)の著者  
①今和次郎 ②西山卯三 ③吉阪隆正
- 「住宅貧乏物語」の著者  
①河上肇 ②宮本憲一 ③早川和男
- 「現代都市論」の著者  
①柴田徳衛 ②日笠端 ③宮本憲一
- 「街並みの美学」の著者  
①楳文彦 ②芦原義信 ③大谷幸夫

解答欄	11		12		13		14		15	
-----	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

- 「見えがくれする都市」の著者  
①楳文彦 ②芦原義信 ③陣内秀信
- 「まちづくりと景観」の著者  
①樋口忠彦 ②鳴海邦碩 ③田村明
- 「コミュニティ・デザイン」の著者  
①奥田道大 ②馬場正尊 ③山崎亮
- 「都市をたたく」の著者  
①櫻庭伸 ②佐藤滋 ③後藤春彦
- 「住宅問題」の著者  
①マルクス ②エンゲルス ③ケインズ

解答欄	16		17		18		19		20	
-----	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--